

第2回大阪市立義務教育諸学校教科用図書選定委員会（中学校）第2地区部会 会議録

1 日 時 令和2年7月20日（月）13:00～16:30

2 会 場 大阪市教育センター 第6研修室

3 出席者

（委員）

八木委員、大畑委員、田矢委員、林委員、池内委員、富山委員、松田委員

（事務局）

安倍首席指導主事、田野原総括指導主事、松本指導主事、浅木指導主事

4 議 題

(1) 各調査会からの報告及び質疑

5 議事録

（部会長）

第2回選定委員会を始めたいと思います。

前回の第1回選定委員会以降、各調査会におきまして調査研究を行っていただき、調査員による調査が7月10日に全て終了いたしております。お手元の資料には、その調査結果を記載していますので、ご覧ください。多くの教員が何時間にもわたって調査研究したものでございます。本日は調査結果の報告をしていただき、その後、質疑・応答と答申資料の作成に向けて検討いたします。長時間になりますけれども、慎重な検討をお願いします。また、暑い中ですので、適宜水分補給をお願いします。

では、改めて進めてまいります。まず初めに、調査の経過につきまして、事務局からお願いします。

（事務局）

失礼いたします。事務局指導部の第2教育ブロックグループの田野原でございます。

それでは、調査の結果を説明させていただく前に、本日の配付物についてご説明いたします。次第の裏面をご覧ください。まず、調査の観点第2地区版でございます。続きまして、学校調査会調査集約結果でございます。参考といたしまして、学校調査会代表的コメント一覧でございます。続きまして、専門調査会調査結果でございます。参考といたしまして、定量的調査資料でございます。こちらの資料は、大阪府教育委員会設置の「大阪府教科用図書選定審議会」の答申に基づき作成されました「令和3年度使用教科用図書選定資料」の中から、各種目の資料2学習指導要領に示されている各教科の目標等を踏まえ、各種目の特性に応じた教科用図書の特色が明らかになるような客観的な数値データ等のみを抜粋したものでございます。本日、

審議の参考として準備させていただきました。続きまして、教科書展示会アンケート集約結果でございます。なお、本日の配付資料一覧に記載しております答申資料案につきましては、後ほど配付させていただきます。最後に、本市職員以外の方と校長先生には、前回にお渡ししました事務関係書類を予備として改めて配らせていただいております。

以上となります。不足等はございませんでしょうか。

それでは、調査の経過についてご報告させていただきます。前回6月2日の第1回選定委員会以降、各調査会において調査研究が行われました。具体的には、6月4日に学校調査会と専門調査会の説明会を大阪市教育センターにて開催し、両調査会とも6月8日より本格的な調査に入りました。

説明の際には、前回の地区部会でご審議いただきました「調査の観点」の重点化について、その経緯や考え方についても触れ、特に専門調査会においては本日の報告資料作成に関わって留意すべきことを説明させていただきました。

学校調査会については、7月2日まで各校にて見本本を回覧しながら調査研究が行われ、その結果が提出されました。学校によっては兼務や休職等で一部の教科を担当する教員がいないことから調査できない種目がございましたが、ほとんどの学校において全ての種目について調査が行われました。

また、社会科の歴史的分野において「学び舎」については、本市に送付された見本本が極端に少なかったことから、各校への回覧分を確保することができませんでした。その結果、近隣の教科書展示会にて閲覧していただくようお願いいたしました。臨時休業期間からの学校再開の時期と重なったこともあり、多くの学校での当該教科書の調査研究ができておりません。

なお、各校から提出された学校調査結果を集約し、7月6日に専門調査会に情報提供をいたしております。

一方、専門調査会では14の調査会を設置し、6月8日から数度にわたって担当する種目の調査研究を行い、最終的に学校調査結果を加味した上で調査結果を取りまとめられました。本日この後、代表調査員からご報告をいただくことになっております。

また、市内31か所で教科書センターでの教科書展示会が開催されておりましたが、その展示会にて学校協議会委員、保護者、市民からのアンケートを回収しております。7月3日現在のアンケート回収総数は602通となっております。集約結果につきましては、別紙のとおり簡単にまとめさせていただきました。集まったアンケート用紙そのものは、こちらのファイルに托じておりますので、また休憩時間のときなどにご覧いただけたらと思います。

以上が調査の経過についての説明でございます。

あわせて、本日の予定についてご説明さしあげます。本日は各調査委員会が行った調査の結果について報告を受け、それを基に選定委員会として答申資料の作成に向けてご審議いただくこととなります。また、本日は全種目ということで、教科書の冊数も大変多くなっております。種目ごとに説明させていただく際に、教科書見本本を各机の前にありますお机に置かせていただいておりますので、ご自由にご覧になっていただければと思います。なお、本日も用意している見本本は4セットとなっております。お一人1セットとはなってはおりませんが、ご了承ください。何分、限られた時間で多くのことを審議していただくことになり、恐れ入りますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。何かこの点にご質問等はいかがでしょうか。どうでしょうか。

では、各調査会の報告に入ります。まず、学校調査会の報告につきまして事務局より説明申しあげます。

(事務局)

失礼いたします。引き続き学校調査会の報告をさせていただきます。

学校調査会は各校に設置し、見本本を学校間にてリレー形式で回覧しながら、各校にて調査研究をしていただきました。具体的には、見本本と「調査の観点」の各観点を照らし合わせて、「特に優れている観点」や「特に工夫配慮を要する観点」を選んでいただく方法で調査結果を取りまとめました。ただ、選んでいく上で、「優れている」も「工夫配慮を要する」のいずれも「調査の観点」の各項目内で最大2観点まで選択できるという条件を設定させていただきました。

その調査研究結果を、各校でデータ入力していただき、事務局にて集約いたしましたのが、お手元にあります「学校調査会調査集約結果」と題した冊子になっております。

中をめくっていただきますと、1ページに「国語」、2ページに「書写」と、各種目1ページずつ集計した結果を一覧表にまとめています。一覧表の見方としまして、「国語」を例にいたします。縦軸に各観点、横軸に発行者となっており、同じ発行者の中でも左側が特に優れている、右側が特に工夫配慮を要するの選択をされた学校数を示しております。特に観点文言が網かけになっているところが2ブロックの重点化した観点となっております。

また、一覧表の下には、全観点、重点化した観点、項目ごとの学校数の合計が集計されております。この数字を見比べることで、学校調査における優位性を見取ることができます。

ただし、4ページの「歴史」の調査結果をご覧くださいでしょうか。7者の中でも一番右にあります「学び舎」の数字が他と比べて少ないことに気づかれるかと思えます。これは先ほども述べさせていただきましたが、「学び舎」の見本本が本市に割り当てられた冊数が非常に少なく、結果的に学校調査用に確保することができずに、各校への回覧ができておりません。各校へは教科書センターでの教科書展示会にて閲覧が可能であることを案内していただきましたが、先に申しあげましたとおり、学校再開の時期と重なったこともありまして、当ブロックでの調査実施校は33校中5校となっていることをお含みいただいた上で、他の発行者との比較をしていただければと存じます。

なお、現在、教科書展示会の終わった教科書センターや調査の終了した専門調査会から府が見本本を一定数回収いたしまして、短期間ではありますが、未調査校への回覧を行い、追加の調査研究をしていただいております。次週の第3回選定委員会におきましては、その結果を反映させたものを改めてお示しさせていただきます。

また、別冊子の参考学校調査会代表的コメント一覧には、この学校調査会において観点の選択とは別に、項目ごとにコメントを任意で入力していただいたものの中から代表的なものを抜粋して一覧にまとめたものもございます。あくまで参考資料としてご覧いただければと存じます。

す。この後、専門調査会の報告を受けていただきますが、その際にお手元に置いていただき、比較しながらお聞きいただければと存じます。

以上で学校調査の報告を終わらせていただきます。

(部会長)

ご質問等いかがでしょうか。学校のほうでも全教科研究した結果がこの「学校調査会結果」であり、アンケートのコメントになっていますので、また適宜これらも見ながら進めていきたいと思っております。

では、続きまして、専門調査会の報告に入ります。ここからは、次第にあります「種目」順に各専門調査会の代表調査員である校長先生から説明していただくこととなります。お手元にご覧いただけます「専門調査会結果」の冊子と「調査の観点」をご準備ください。

また、先ほど説明のあった「学校調査会集約結果」をご覧ください。見本本もありますので、ご覧ください。では、まず、各種目限られた時間での審議となっていますので、重点化した観点を中心にご報告いただくことをお願いしておりますので、報告書の中でも、そのことを反映しております総評を中心にご説明いただきます。

では、国語をお願いいたします。なお、次の書写と同じ代表調査員になります。

(代表調査員)

失礼いたします。国語については4つの発行者がございます。それでは、順に報告をさせていただきます。

まずは、東京書籍についてでございます。報告書の総評をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点から、項目1の観点②、項目2の観点③といたしております。中でも、項目3の観点⑥、各学年の教科書冒頭において、年間で学ぶ内容と身につけたい言葉の力が単元別に明示されており、学習内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されていることに特徴が見られます。

次に、三省堂についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点③及び観点④、項目3の観点⑥といたしました。中でも項目1の観点④言語活動を通して「話す・聞く」ことの力を向上させる教材で「グループディスカッション」や「スピーチ」「グループ新聞」などでは、語彙力、言葉遣い、表現の技法など、生徒の発達の段階や特徴等を踏まえつつ、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等を育成するように配慮されている点に特徴が見られます。

次に、教育出版についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点④といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。中でも項目2の観点④、「昔話と古典」「物語の始まり」では、古典の様々な作品に触れながら、言葉がもつ価値を認識するとともに、言語活動を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養うことができるよう配慮されている点に特徴が見られます。

最後になりますが、光村図書出版についてでございます。この発行者の特に優れている観点

が項目1の観点④、項目2の観点③及び観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②といたしました。中でも項目2の観点③、「思考の地図」の單元では、人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力を養うことができるようにわかりやすく配慮されている点に特徴が見られます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。では、ご質問、ご意見を伺います。いかがでしょうか。

(委員)

意見というか、進め方の確認ですけれども、国語だったら、例えば候補に挙がる発行者を2者ぐらいに絞るのですか。今日のゴールが分からないです。

(部会長)

おおむね2者程度に絞っていただきまして、順番をつけたいと思っています。

(委員)

確認ですけれども、各発行者、5項目ずつ見ていただいている、例えば三省堂でしたら、配慮を要するという言葉がないので、専門委員会として三省堂には数値をつけておられないんですけれども、この総評の書きぶりによって段階をつけておられるという理解でよろしいですね。

(代表調査員)

失礼いたします。ただいまのご質問でございますけれども、今のご指摘のとおり、専門調査会において専門委員の中でも若干意見が分かれるところは当然ございましたけれども、おおむね優れている点の数、それと、配慮を要する数によって優位性を示している、そのようなご判断で結構かと思います。また、専門調査会においては学校調査会の資料等も踏まえてさせていただきましたが、学校調査会の判断と専門調査会の判断において大きな違いは見られなかったことは、併せてご報告を申し上げます。

(部会長)

ありがとうございます。としますと、学校調査会のほうでは三省堂が第1位。2番としましては光村図書という感じになってくるのでしょうか。

(代表調査員)

はい。特に学校調査会では、第2教育ブロックでしたら、33校の国語科の教員全員がいろいろな観点で調べてくれた資料と合わせまして、この4つの中で三省堂と光村、この2つがほかより少し抜けておる2者だと。専門調査会でも、この後、選定委員会で選定されていくに当たって、三省堂が専門調査会としても一番いいのではないかなという感じでしたけれども、仮に光村が選ばれたとしても、それは何も異論を挟むものではない程度に2つは抜けている。あえ

て順番ということであれば、専門調査会としては三省堂、次に光村というふうな形になってございます。

(部会長)

いかがでしょうか。今の説明を受けまして、ご意見、何か質問がございましたら伺います。

(委員)

そうしますと、今、2番手に挙がっている光村の唯一「配慮を要する」に挙がっている1年生の未来を切り拓くための学力・体力の向上に配慮された単元が少ないと書かれているんですが、具体的に教科書で言うと、どの辺りになりますでしょうか。

(代表調査員)

配慮を要するというのは、もう少しそのことが育まれるような教材があればなあということなので、ここのこの文章が駄目だということでは決してございません。非常に微妙な差でございます。かといって、ほかのところは全部あるのかといえば、そこも難しいところもありますので、この部分が、この記述がもう一つであるということではなく、もう少し足していただければよかったなというふうな感じでございます。

(委員)

載せている単元がということですよ。

(代表調査員)

そういうことです。

(部会長)

いかがでしょうか。おおむね見ますと、三省堂、光村の2者が優勢となっているという感じがあるんですけども、その点でもしのご意見ございましたら、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

では、続きまして書写をお願いいたします。

(代表調査員)

引き続き、私のほうからご報告を申し上げます。書写につきましても発行者が4つございます。それでは、順にご報告申し上げます。

まずは、東京書籍でございます。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点⑤と観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目3の観点⑥といたしました。中でも項目1の観点②、新聞・ポ

ップづくりなど、文字表現によって社会を歩んでいくための力を養える教材が配慮されている点に特徴が見られました。

次に、三省堂についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目2の観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点⑤。中でも項目3の観点⑥、ページの端にある「振り返ろう」によって、学習ポイントをおさえることに配慮されている点に特徴が見られます。

次に、教育出版についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目2の観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点⑤といたしました。中でも項目2の観点⑥、筆の持ち方では、写真に説明書きを詳しく書いており、配慮されている。名作を用いて、硬筆練習を繰り返し行い、正しく仮名の習得ができる工夫がされている点に特徴が見られます。

最後に、光村図書出版でございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点⑤及び観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。中でも項目2の観点⑤文字文化の象徴である手紙の書き方の学習が充実している。文字文化にまつわるコラムが多く配慮されている点に特徴が見られます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。今回、光村が5点とも優れているという評価だったかと思うんですけども、一方、三省堂と教育出版が3つずつ工夫を要するとしておりましたので、順番で言いますと光村、東京書籍の順番かなという気がするんですけども、いかがでしょうか。

(代表調査員)

ご指摘のとおり、専門調査会におきましては、光村図書出版に続いて東京書籍がいいのではないかと出ておりました。ちなみに、学校調査会においては、4者とも国語ほど差が開いておりませんでした。と申しますのは、芸術性の分野ですので、専門性が高い方であればあるほど好みなりというものがでてまいります。検定は通っておりますので、どれがだめだということではなくて、書写の場合は好みがばらばらかなと。ですので、国語ほど2者に突出した偏りが見られず、4者いずれが選ばれたとしても何らおかしいことはないかなという感じは専門調査会としても受けておりましたが、専門調査を進めていく中で、やはり光村が1つ頭出てきたかなと。続いて東京書籍ということで、学校調査結果を踏まえても、専門調査会結果と齟齬がないかなというところでございます。

(部会長)

ありがとうございます。何かご意見、ご質問がございましたら、いかがでしょうか。ないようですので、その方向で確認したいと思います。ありがとうございました。

(代表調査員)

ありがとうございました。

(部会長)

続きまして、地理の報告をお願いいたします。なお、地理と地図は同じ調査会で検討されています。

(代表調査員)

失礼いたします。地理は、4つの発行者でございます。それでは、順に報告いたします。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評の欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の②、項目2の観点④及び観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点④といたしました。中でも項目3の観点⑥、各節でも復習ページでは、用語を自分の言葉で説明させようとしており、振り返りができるよう工夫されている点は、主体的な学習態度の醸成につながることに特徴が見られます。なお、総評以外でも世界地理、日本地理のいたるところに読み取る、考える、まとめる、集めるといったタイトルで生徒に作業などを提起しており、生徒が主体的に課題を追究・解決できるプロセスで構成されている点に大きな特徴が見られます。

次に、教育出版についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点④及び観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②といたしました。中でも項目1の観点④、ほぼ毎時間に「確認!」「表現!」の項目や「地図を活用しよう①～④」のコーナーを設け、論理的思考力、豊かな表現力を育成するよう配慮されていることに特徴が見られます。

次に、帝国書院についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点④及び観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点はございません。中でも項目1の観点②、世界の諸地域ごとに『未来に向けて』が設置され、諸地域の多様な価値観や文化の共生をはかる人々の姿を紹介しています。また、随所にQRコードを掲載してICTの活用がしやすくするなど、未来を切り拓く学力の向上をねらった工夫がされている点に特徴が見られます。

次に、日本文教出版についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は項目1の観点②、項目2の観点⑥といたしました。中でも項目3の観点⑥、「学習課題」「確認」「深めよう」などの記載があり、何を学習するか、何に着目するかがわかりやすく、あとの振り返りにも使いやすいように配慮されている点に特徴が見られます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。では、質問等いかがでしょうか。今、伺いますと、帝国書院が5つとも優れているという評価だったと思います。一方、日本文教が2つ配慮を要する観点があって、あとの東京書籍と教育出版のほうは4つ観点が並ぶとなっておりますが、この東京書籍と教育出版の優位性はどちらが高いでしょうか。

(代表調査員)

帝国書院についても同じなのですが、地理では、主体的にどんなに学べるか、学習を発展的に深く学んでいけるか、そういう観点で調査を行いました。そういう観点でいいましたら、東京書籍のほうがより発展的に学べると捉えております。

(部会長)

優位性が最も高いのが帝国書院、次に続くのは東京書籍ということです。その点を含めて皆様、ご意見、ご質問があれば伺いたいと思います。いかがでしょう。ちなみに、このQRコードのリンクというのはどのようなものですか。もしよければ、簡単に言ってくださいますか。

(代表調査員)

各者とも、いわゆるデジタルに対応するような、ICT を使えるような工夫がされておりました。ただ、中身のところで申しあげますと、例えば、帝国書院でしたら、そこに関わる写真であったり、データであったりというふうにリンクができるような、そんなものが付されております。中にはリンクを貼っている箇所が多い少ないというところではございました。

(部会長)

そういう工夫もたくさんあるようで、時代が変わってきたと思います。優先順位が最も高いのが帝国書院で、次に東京書籍とのことですが、その点何かご質問があれば、伺いたいと思うんですが、いかがでしょう。

(委員)

帝国書院では、SDG s を意識した特設ページがあるということなんですけれども、ほかの発行者はありませんでしたか。

(代表調査員)

失礼します。ほかの発行者でもそういうページを設けるなどということはございました。帝国書院は、表紙裏のところに特集があるのと、それを意識して持続可能な社会という観点で教材を捉えている、そういうところが特徴的なところでございます。

(部会長)

ありがとうございました。よければ、優先順位の高いものとして、帝国書院、東京書籍という順番で報告をしたいと思うんですが、いいでしょうか。

続きまして、地図をお願いいたします。

(代表調査員)

それでは、続きまして、地図についてご説明いたします。地図は2つの発行者がございませぬ。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②、項目2の観点②といたしました。中でも項目1の観点④、「テーマ資料」では、地図や資料を通して多面的・多角的に考える、判断する、表現することができるよう工夫されている点に特徴が見られます。

次に、帝国書院についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点①及び観点②といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目3の観点⑥といたしました。中でも項目1の観点②、QRコードが随所についており、ICTを活用して様々な情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けさせるのに優れている点に特徴が見られます。なお、総評以外でも、教科書をA判にすることにより、主題図や資料、データを大きく掲載することができ、とても見やすいよう配慮されている点に大きな特徴が見られます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。地図は2者ですね。総評の部分のバランスで言いますと、帝国書院の優位性が高いのかなという理解でいいでしょうか。

(代表調査員)

それぞれ特徴的なところがあるんですけども、今おっしゃられたように専門調査会では考えております。

(部会長)

この点を踏まえまして、ご意見などございましたらば、お伺いしたいと思います。

(委員)

確か、帝国書院以外、採択されたことがないですね。

(代表調査員)

現行は帝国なんですが、たしか東京書籍が採択されたこともあったと思います。何年と言えずに申し訳ないですけども。

(部会長)

いかがでしょうか。では、地図につきましては帝国書院の優位性が高いということで確認していきたいと思います。

続きまして、歴史の報告をお願いいたします。

(代表調査員)

失礼いたします。歴史分野は7つの発行者がございます。それでは順にご報告いたします。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れて

いる観点を項目1の観点②、観点④、項目2の観点④、観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は総評の記述の中にはございません。特に優れている観点の中でも項目2の観点④に特徴が見られます。「読み取る」により、歴史にかかわる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを多面的・多角的に考察したり、公正に選択・判断したりできるよう工夫されています。なお、総評には記していませんが、工夫配慮を要する点としましては、項目3の観点⑧、各資料の中に描かれている人物や場所、本文との関連などを示す工夫があれば、本文と資料の関連性を素早く理解できると考えます。

次に、教育出版についてです。この発行者の特に優れている観点を項目1の観点②、観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点⑥といたしました。特に優れている観点の中でも、項目1の観点④に特徴が見られます。各単元の「確認！」によって基礎事項を振り返ることができ、「表現」によってとらえるべき根幹にせまれる工夫がされており、観点④にある、生徒の論理的思考力・判断力、豊かな表現力等の育成につなげられるものと考えます。工夫配慮を要する点としましては、観点2の⑥、単元の見出しは工夫されているが、全単元を通した統一感がなく、また見出しの語が本文中では全く触れられていない単元が見られるところです。

続いて、帝国書院についてです。この発行者の特に優れている観点を項目1の観点②、観点④、項目2の観点④、観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は総評の記述の中にはございません。特に優れている観点の中でも、項目1の観点④に特徴が見られます。1単元ごとの「学習課題」では生徒の学習意欲の向上や、各章末の「章の学習を振り返ろう」や各節末の「第〇節の問いを振り返ろう」では、節や章で得た知識を生かし、単元を貫く問いに対して思考・判断・表現する設問が工夫されている点が特徴であります。なお、総評に記していませんが、工夫配慮を要する点としましては、項目3の観点②、本文にはふりがなや対応する資料番号などが書き入れられ、自学自習に効果的であるが、紙面に小さな文字が多くなり、見やすさについての工夫を要すると考えます。

次に、山川出版社についてです。この発行者の特に優れている観点を項目1の観点②、項目2の観点④、観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点を項目1の観点④といたしました。特に優れている観点の中でも、項目2の観点⑥に特徴が見られます。「まとめ」では、現在の世界観、解決すべき課題やその解決策を考えるように促し、よりよい社会の実現に向けて主体的に考え、解決していく態度が養える配慮がされていると考えます。一方で、工夫配慮を要する点としましては、項目3の観点②、文字が小さく、1ページあたりの文章量も多いため、生徒の学習意欲を持たせることに配慮を要すると考えます。特に、索引の文字が小さく、効率よく学習を進めるに当たって課題があるとしています。

次に、日本文教出版についてです。この発行者の特に優れている観点を項目1の観点②、観点④、項目2の観点④、観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は総評の記述の中にはございません。特に優れている観点の中でも、項目2の観点④に特徴が見られます。「チャレンジ歴史」では、資料をもとに、歴史について自分で考えたことをまとめ、グループでの話し合いや意見交換を通して、生徒が歴史的事象を多面的・多角的に考察できるように工夫されています。なお、総評には記していませんが、工夫配慮を要する点としましては、項目3の観点⑧、取り上げられている写真や絵画資料などの番号が、本文中の

どの部分に示されているかを分かりやすく示す配慮を要すると考えます。

次に、育鵬社についてです。この発行者の特に優れている観点を項目1の観点②、観点④、項目2の観点④、観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点を項目3の観点⑥といたしました。特に優れている観点の中でも、項目2の観点⑥に特徴が見られます。「歴史のターニングポイント」が設けられ、さまざまな資料をもとに詳しく掘り下げて考え、話し合い活動を通して論理的思考力・判断力、豊かな表現力を育成できるよう配慮されていると考えます。特に工夫配慮を要する観点、項目3の観点⑥、特設ページの内容が多く、1時間内で学習を完結するには配慮を要すると考えます。

次に、学び舎についてです。この発行者の特に優れている観点を項目1の観点②、観点④、項目2の観点④、観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点を項目3の観点⑥といたしました。特に優れている観点の中でも、項目2の観点④、「フォーカス」では、歴史事象の背景にある世相や民衆の思いを取り上げ、考察力、選択・判断力の育てる工夫がなされている点です。特に工夫配慮を要する観点では、項目3の観点⑥、掲載資料については、別途資料集がなくても対応できるほど豊富であるが、専門的なものや難易度が高いものも多く、教師の説明時間、生徒の資料読解に時間を要するため、精選の工夫を要する。」と考えます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。歴史は全部で7者ありまして、数学と並んで最も多い種目です。報告によりますと、総評がすべて「特に優れている」だったのは、東京書籍、帝国書院、日本文教の3者。あとの4者も「特に優れている」のが4つとなっていて、僅差といえますか、非常に甲乙つけ難いなという感じなんですけれども、東京書籍、帝国書院、日本文教の優先順位は、どんなふうな感じでしょうか。

(代表調査員)

3者とも非常に甲乙つけ難く、一長一短がございます。学校調査会の資料を見ますと、同じくこの3者が上位を占める状況になっています。使い勝手等、あるいは子どもにどのように授業で活用させられるのかなど、先ほど申しあげましたように、甲乙つけ難い状況が発生しております。機械的に7者を順位づけしまして、一番評価が高いところは7者ございますので、7ポイントとし、以下6、5、4、3、2、1とそのように点数づけいたしますと、最もポイント数が高かったのは、日本文教出版の146ポイント。2番が帝国書院143ポイント。3番が東京書籍130ポイント。この点数を見ましても非常に接近しております。また、それぞれの観点別に見ましても高い評価を得られているのがこの3者であると考えます。

(部会長)

ありがとうございます。その点を含めまして何かご意見やご質問あれば、いかがでしょうか。7者ございますので、比較するのもなかなか大変だと思いますが。

(委員)

3者ですと、僕もほぼ甲乙つけ難いなと思うんですが、個人的には山川の教科書が非常に気になっています。ご存じのように、高校では、特に世界史では非常に定評がある教科書です。僕も見ていると難しいなと思ったのですが、山川のこの辺りがちょっとハードルが高過ぎるというのを参考までに教えていただけたらありがたいです。

(代表調査員)

やはり、おっしゃられたように、高等学校の教科書に多数採用されておられるところの山川でございます。その内容に準じた表記であるとか、3者を取り上げている社会的事象、これは中学生レベルに合わせておりますが、それでも非常に難易度が高い状況になっております。歴史好きの子どもにとりましては自主的に学習を進めたいな、あるいは発展的に調べ学習をしたいなという点では、「歴史ブック」であるとか、「用語」が非常にたくさんございますので、その点でいえば、歴史通の子どもを育成するにはもうちょっとかな、そんなふうに感じます。難易度が高いというのがやはり大きなハードルであろうかと思っています。

(委員)

少し高過ぎるんですね。分かりました。

(部会長)

ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。日本文教、帝国書院、東京書籍という優先順位ですが、よろしいですか。

続きまして、公民をお願いします。21ページになります。

(代表調査員)

公民は6つの発行者があります。それでは、順に報告させていただきます。

まずは、東京書籍についてでございます。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点④及び観点⑥、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点はございません。中でも、項目2の観点、学習内容に関連する発展的な学習活動を「見方・考え方」などで取り上げることにより、社会的事象の意味や特色を多面的・多角的に考察したり、公正に判断し、議論したりできるよう工夫されているところに特徴が見られます。

次に、教育出版についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②、項目2の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、学習課題に対して「確認」「表現」が設定され、自分の言葉でまとめ、説明する活動を通して、論理的思考力・判断力、表現力を育む工夫がされているところに特徴が見られます。

次に、帝国書院についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点④及び観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、「アクティブ公民」が10か所配

置されておるアクティブラーニング型の授業を通じて、社会における様々な課題に対する論理的思考力や解決力を養えるよう配慮されているところに特徴が見られます。

次に、日本文教出版についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点④及び観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目2の観点④、本文ページの「学習課題」において、解決に向けて手がかりになる見方・考え方が示されおり、多面的・多角的に考察しやすいよう工夫されているところに特徴が見られます。

次に、自由社についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点④及び観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、「アクティブに深めよう」では、生徒同士の対話や学習のまとめに重きを置いており、思考力や判断力を育成するよう配慮がなされているところに特徴が見られます。

最後の育鵬社についてでございます。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点④及び観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点④、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、「やってみようでは、個人やグループによる作業や活動が設定されており、技能や豊かな表現力を育成するよう工夫されているところに特徴が見られます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。公民は全部で6者ございまして、総評5つとも配慮されているというのが東京書籍です。4つが帝国書院と日本文教出版になってございます。この2番手の2つ、帝国書院と日本文教出版の優位性についてはどうでしょうか。

(代表調査員)

そうですね、近いところではあるんですが、専門調査会の中では日本文教出版のほうを総合して判断すると2番手という形でさせていただいております。

(部会長)

では、全体を通しましてご質問なり、ご意見ございましたら。いかがですか。

(委員)

今、帝国と日文では専門調査会の中では、日文の方が優位性が高いのかなというお答えだったと思うんですけども、この結果を見ますと、例えば帝国であれば、特に優れている点が、6個挙がってしまっていて、日文であると、5つです。そして、特に工夫配慮を要する点は同じなのかなと思うんですけども、それでもなおかつ日文の優位性が高いというのはなぜか、教えていただけたらなと思います。

(代表調査員)

失礼します。総評で見ると、日文は数というよりは内容の質というところになるんですが、特に顕著な部分として丸3つ目、「学習課題」についてのところで、多面的・多角的にというこの新しい指導要領の肝になる部分に重きを置かれているというところを見て、日文の優位性が高いとさせていただいております。

(部会長)

ほか、いかがでしょうか。

公民につきましては、東京書籍に続きまして日本文教出版、続きまして帝国書院と伺っております。ありがとうございました。

では、休憩を取ります。

(休 憩)

(部会長)

では、再開いたします。続いて、数学をお願いします。

(代表調査員)

失礼します。数学は7つの発行者があります。それでは、順に報告する前に、今回の教科書の全体的な特徴を簡単に説明させていただきます。

今回の教科書は全体的に主体的・対話的で深い学びを強調した教科書になっております。また、数学と実社会との関連について取り上げる場面を増やし、なぜ数学を学習するのかを常に問いかけています。さらに、キャラクターなどを登場させる場面をこれまで以上に増やし、会話から問題を解くヒントを与え、また、基礎、応用、発展と問題が系統的に作られております。

QRコードを掲載し、デジタルコンテンツを活用させ、日常生活にある事象と数学のつながりが比較的に分かるような工夫があります。7つの発行者ともに本の使い方としてかなりのページを割いています。それだけ様々な仕掛けを施しているのも、事前指導に時間をかけ、生徒自身が十分に理解できれば、自らの学びに役立てられるようになってきていると思います。考え方をサポートするマーク、キャラクターを使って問題を解くための道筋も立てられるようになっており、また、小中の継続学習を意識し、常に振り返りができるように明示もされております。その中で、QRコードの掲載の仕方や学びを支援するマークの特徴、そして、キャラクターの人数や発言内容、生徒だけでなく先生も登場させるなど違いも現れています。

それでは、特に7つの発行者の優れた点に焦点を当ててご報告いたします。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④、項目2の観点③、④、項目3の観点⑥といたしました。特に項目2の観点④では、主体的・対話的で深い学びの授業を進めていくことができるような題材を「深い学び」のページとして各章に設ける工夫がされているところに特徴が見られます。考える楽しさを実感でき、学びの道筋が問題をつかむ、見通しを立てる、問題を解決する、振り返

る、深めるという過程に沿っており、生徒自ら考え、対話を通して深める授業が展開できるようになっております。また、「学びを広げよう」というコーナーも設けられておりキャリア教育にもつながるようになっております。

さらに、総評以外でも特に優れている点として、項目2の観点②では、小学校でつまずきの多い内容を、いつでも確認できるように1年の巻末に「算数の確認」を掲載している。また本文では、「ちょっと確認」として今の学習に必要な既習事項の確認がされているという工夫がされております。

次に、大日本図書株式会社についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また特に工夫配慮を要する点としては、項目2の観点③といたしました。特に項目1の観点②では、各章で学習した内容を、身近な場面で活用したり探究したりできる「活用・探究」の問題やキャリア教育につなげる「社会にリンク」の読み物を通して数学の世界をひろげる工夫がされている点に特徴が見られました。しかし、項目2の観点③では、例題数が少なく、問題解決の過程を振り返りながら知識・技能の定着を図ることについて配慮を要すると考えております。他者と比べると、全体的に例題数が39から多いところで125の差がありました。

次に、学校図書株式会社についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。特に工夫配慮を要する点としては、項目2の観点④といたしました。中でも、項目2の観点③では、各章末の「活用」問題や「深めよう!」「さらなる数学へ」等で、数学を生活や学習に生かすことができるよう取り扱われている。「数学的活動」のページでは、問題解決の過程を振り返り、評価・改善できるよう取り扱われている点に特徴が見られました。しかし、項目2の観点④では、数学的活動を取り扱っている場面で、キャラクターの吹き出しを用いて、生徒の学びを誘導しているが、内容が細かいために多様な考え方を生徒から導く際、配慮を要するのではないかと考えられます。

次に、教育出版株式会社についてです。報告書の総評欄をご確認ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する点としては、項目2の観点④といたしました。中でも、項目2の観点③では、各章末の「学んだことを活用しよう」や「数学の広場」等で、数学を生活や学習に生かすことができるよう取り扱われている点に特徴が見られました。しかし、項目2の観点④では、他の教科に関連した内容について取り上げている箇所が少なく、教科横断的な内容を取り扱う場合、配慮を要すると考えます。他者と比べると、5か所から、多いところで2か所の開きがあります。

また、総評以外では項目3の観点⑤にありますように、1年生で「整数の性質」を「正の数・負の数」の前に独立した章として配列しており、やや高度な内容を含むため、中学校入学直後に学習する「数学」の導入としては適さず配慮を要すると考えます。例を挙げると、累乗、指数を先に習ってから中学校の正の数、負の数に入るようになり、他の教科書では累乗、指数は正の数、負の数の計算である程度習ってから、幾つかの乗法の単元で習います。ですので、算数から数学への移行としては難しく感じる教科書ではないかと考えております。

次に、株式会社新興出版啓林館についてです。まず、この教科書の特徴を述べさせていただきます。

きます。この教科書のスタイルは、今までになく、表紙の横開きで始まる「みんなで学ぼう編」、裏表紙の縦開きで始まる「自ら学ぼう編」と2種類の学びが用意されております。これが今までにない教科書のスタイルになります。「みんなで学ぼう編」は授業中にみんなで取り組む必修部分、「自ら学ぼう編」は生徒が自ら取り組むオプション部分、というふうに教科書を使い分けております。

では、報告書の総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④項目の観点③、④、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目2の観点③、身のまわりの場面から主体的に問題を発見する題材が單元ごとに配置されており、その問題解決の過程が4段階（利用場面、状況整理、見通しを立てる、深める）に分けて丁寧に説明されている点に特徴が見られました。

総評以外では、項目2の観点⑤にありますように、「自ら学ぼう編」にある「学びを生かそう」で取りあげられている題材は、教科や単元を横断した内容が配置されているが、数学的に問題解決を図るまでに、膨大な予備知識が必要となり、限られた時間内で扱いが厳しく配慮を要すると考えております。ここが賛否分かれるところですが、数学の力を自らつくる教材としては、最初に申しあげましたが、今までにない教科書のスタイルになっております。

次に、数研出版株式会社についてです。報告書の総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。特に工夫配慮を要する点が項目2の観点④といたしました。中でも、項目1の観点②、対話による「数学的な見方・考え方」の可視化により、課題に取り組むプロセスが紙面に見えるようにし基礎的な内容を学びながら自然に数学的な見方、考え方が働くよう配慮されている点に特徴が見られます。

しかし、項目2の観点④にあるように、学習したことを日常生活に活用する場面について取り上げている箇所が少なく、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養う際、配慮を要すると考えています。他者との開きが多いところで35か所ありました。

また、総評以外では、項目3の観点⑤、別冊として「探究ノート」があり、その中の「課題学習」などでは身のまわりの問題を学習するような内容になっているが、本冊で学習する内容も併せると生徒が学習する量としてはやや多く配慮を要すると考えています。

次に、日本文教出版株式会社についてです。報告書の総評をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、④、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する点としては、項目2の観点④といたしました。中でも、項目1の観点②、「考えよう」「話し合おう」「深めよう」「説明できるかな？」というマークを付けた問いでは、数学的活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育成できるよう工夫されている点に特徴が見られます。

しかし、項目2の観点④では、学習したことを日常生活に活用する場面について取り上げている箇所が少なく、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養う際、配慮を要すると考えます。他者との開きが多いところでは34か所もあります。総評以外では、項目3の観点④において、めあての文章が赤色で印刷されているため、見づらく配慮を要すると考えております。

以上で7者の報告を終了いたします。

(部会長)

ありがとうございました。伺っておりますと、総評でプラス面の評価が5つあるのが、東京書籍と啓林館。あとの5者につきましては僅差と思うんですけども、東京書籍と啓林館の優位性が高いということかと思うのですが、いかがでしょうか。

(代表調査員)

そうですね。啓林館も非常にいいんですけども、学びのレベルが少し高いという感じはします。子どもの数学的な力を上げるには非常によい教科書のスタイルになっていると思います。ただ、東京書籍のほうの方が全てバランスにおいて、現場の教員からすればかなり使いやすく、子どもにとっても分かりやすいという意見が出ておりました。

(部会長)

いかがでしょうか。学校調査会の調査結果を見ておりますと、東京書籍か啓林館とした場合に、啓林館のほう为重点化した観点を見てみますと、プラス面のほうが高いように思いますが、いかがでしょうか。

(代表調査員)

学校調査会の調査結果では、特に優れている点という部分では啓林館のほうが高く、配慮する点では、啓林館のほうが少ないという状況なんですけれども、我々調査委員のほうでこの教科書を実際を使って授業を展開したら、どうなるんだということで、地域でも学力差があると思うんですが、幅広い子どもたちに分かりやすく授業を工夫するためには、東書のほうが優れていると考えました。ただ、より力を伸ばすべき子どもたちが今回のような状況に陥って、自分で学習する機会を与える時間が十分あるのであれば、啓林館のほうも優れているというふうな考えで話はありました。

(委員)

今もおっしゃっていただいたように、まさに第2教育ブロックがめざしているところだと思います。啓林館の教科書は、ぴったりだと思います。やはり一定の学力がある子が多いですし、自らの学びという部分では代表調査員がおっしゃる通りだと思います。もし東書ではなく啓林館を選んだ場合、ここは東書よりも劣るなというところをおっしゃっていただけると、啓林館を選びやすいのかなと思うんですが。

(代表調査員)

今回、子どもたちがコロナウイルスで学校休業になったときに、一番何を心配したかというところ、授業のことなんです。まず、授業についていけるかどうかというところです。そのときに子どもたちが東書と啓林館の教科書を見たときに、どう思うかですよね。授業についていけるかどうかという部分で、数学が得意じゃない子が自ら学ぼうの教科書を縦開きで見たとき、おそらく「数学ってこんなに難しいのか。」という印象を受けるのではないかと。そんなことが我々の会議で出てきました。

そういう意味でバランスを考えれば、今現在、東書を使っていますけれども、東書の例題問

題や内容とかという部分について、教師側にとっても生徒側にとっても一番バランスが取れているんじゃないかなと思います。先ほど賛否が分かるといったのはそこなんです。ただ、子どもたちが何を心配しているかという観点で考えたときに、現場の先生自身が実際に教科書を見て指導するということを考えたら、バランス的には東書のほうが優れているだろうというのが、調査会で話し合われました。

(委員)

親の代表としては、学力を向上させるために、少し高度なことを教えてもらいたいという希望があります。家で勉強するというのは子どもだけでなく、親もついているので、教えることもできます。

(代表調査員)

我々教師が教科書で教えるので、教科書以外のプラスアルファの教材というのは、先生方が当然独自に用意されています。今日も数学の新任の先生と話したんですけれども、基礎、発展応用の3種類を用意しているそうです。その次に入試問題をさせるとのことです。授業の中で入試問題に到達しない子がおりますが、学校としては子どもたちに力をつけたい。基礎、発展までは授業で身につけたいと言われますので、先ほどの教科書を教えるか、教科書で教えるかという観点からいえば、現場の先生方の声のほうが当然保護者の意向も聞きながら進めていけるんじゃないかと思っております。

(部会長)

ほか、ご意見いかがですか。

(委員)

難しいところで、どちらもいいところがあるなと思っております。啓林館は「自らの学び」ということで、先ほどもおっしゃったように、第2ブロックに適している部分はここにあるのかなという思いがあります。東京書籍のいいところは、小中連携で、小学校でつまずきやすいところを重点的に何度も繰り返していくということで、1年生の教科書の巻末に、つまずきの多い内容に関して記載している。そういうところを見通してやっているというところでは、東京書籍のほうがいいのかと。本当に拮抗しているんだなと思いました。私自身も今、見ながら考えているところでございます。小中の今の大阪の課題をと考えると、東京書籍は非常に工夫があって、使いやすいのではないかなという気がします。

(委員)

僕は、啓林館の教科書が面白いなと思いました。力のある先生だったら啓林館を使いたがるだろうなと思います。本当の数学の楽しさというか、基本が分かって、「あ、解けた」みたいな楽しさがある。「数学って面白いんだな」というところまで指導しようと思ったら、啓林館だと思います。

(委員)

子どもが中3になったら、塾に通わせる人が多い。先生が一生懸命教えてくださるので、それを全て把握できれば、進学できると思います。だから、学校では、より高い教育をしてほしいというのが希望です。まず、塾に行かなくてもよい、そんな勉強をさせてもらいたいというのが本音です。

(部会長)

保護者の思いとして、そういうところかと思えます。

(委員)

今は塾に行くのが当たり前のような雰囲気がありまして、学校の中でも塾に行っている子が多いや少ないという声も聞きますので、その辺、どこか親もサポートしないといけない時代なのかなと思います。

(部会長)

事務局、これは優位性の高さについて、明確にしないといけないんですか。

(事務局)

本日は専門調査会の調査結果について報告を受ける場ございまして、また第3回選定委員会の折に、その辺りについて改めてご協議いただきたいと考えております。

(委員)

最後に確認なんですけれども、学校調査会では、ただ単に点数だけ見ると啓林館なんですけれども、代表調査員、個人のご意見はお答えづらいということだったんですが、専門調査会としてはどちらがよろしいかと考えていらっしゃるのでしょうか。

(代表調査員)

専門調査会は私も入れて合計5名おります、もし選ぶとすれば、どうするか、現役の先生方がこの教科書を使って来年度の新しい学習指導要領のもとに教える、と考えれば、東書という発言が大方です。啓林館について懸念するのは、やはりちょっと難しいというイメージを現場の先生方は持っているようです。あくまでも、調査会での会話の中での一部です。

(部会長)

ありがとうございました。

続きまして、理科をお願いいたします。

(代表調査員)

理科は5つの発行者があります。順にご報告いたします。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点②、項目2の観点④といたしました。

また、特に工夫配慮を要する観点が項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、各節ごとに課題が提示されており、課題に対する自分の考えをキーワードを使い表現できるよう工夫されているところに特徴が見られます。どの單元にも課題から書かれており、順序だてて進む形式で考えがまとめやすくできていると考えます。ただ、教科書全体の色合いがちょっと暗い傾向にあって、子どもたちというのは視覚的に訴えるところがありますので、その辺りが問題点かなと思っております。

では、大日本図書株式会社についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点②、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点④といたしました。中でも、項目2の観点②にあるように、学習のつながりを單元当初に示すことで、事前の事物・現象についての理解を深めるような構成となるよう配慮されている点に特徴が見られます。どの單元にも最初に学習のつながりが示されており、学びの継続が図られていることから、生徒の興味・関心を高めることができると考えます。しかし、項目2の観点④、実験について、直後に結果が掲載されていることは生徒の深い学びを促すことができるよう配慮を要すると考えております。

次に、学校図書株式会社についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点②といたしました。その中でも、項目1の観点④、課題研究のためのページが設けられ、主体的・対話的に学べる授業を行うための手立てがあり、各單元に多くの「探究」が設けられ、配慮されていることに特徴が見られます。順を追うことで生徒たちだけでも、少人数グループでも、クラス全体を通じてでも話し合うことができると考えます。ただ、自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を身に付けるためには、單元ごとの導入が不十分であるため配慮を要すると考えております。

次に、教育出版株式会社についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点②といたしました。中でも、項目1の観点④にございますが、課題の提示が明確で、仮説の例示もあり、論理的に考えるような構成となるよう配慮されているという特徴が見られます。疑問を与え、そこから課題を見つけ仮説を立て計画し、実験・観察と行っていく手法は理科的で子どもの意欲を引き出すと考えます。ただ、自然の事象を深めることに対して、シンプルに取り組まれているが、発展的な内容が少ないため、生徒の学力向上を実現するために配慮を要すると考えます。これは「ハローサイエンス」の中に「発展」と書かれているものが、数的には少なく、発展を求める子どもにとってはもう少し物足りなさを感じるのではないかと思います。

次に、啓林館についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点②、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する点は基本的にはないと考えます。中でも、項目2の観点②にある、日常生活社会

との関連があるコラムが豊富で、興味関心を持たせられる切り口となる工夫がなされているというところに特徴が見られます。課題発見的な実験を行い、その上で「表現してみよう」で主体的で対話的な表現を訓練し、「深めるラゴ」で発展的な部分をプラスしているのがとても工夫されていると考えております。

(部会長)

ありがとうございました。5者ある中で、啓林館の総評欄が全てプラスの評価ということで、優位性が高いのかなと思いました。あと4者は、マイナス面が載っておりましたが、いかがでしょうか。

(代表調査員)

はい。

(部会長)

では、次に優位性が高い発行者は、あとの4者の中でどのようなイメージでしょうか。

(代表調査員)

次に優位性が高い発行者としては、東京書籍とっておりますが、全体的な色の暗さが気になります。子どもの会話のところがあるんですけども、その他のところについてとか、文章の流れとか、考えさせる要点だとかという点においては、啓林館とあまり遜色はないような気がします。ただ、全体的なバランスや色合いのよさから考えて、啓林館の優位性が最も高いと考えます。

(部会長)

いかがでしょうか。

(委員)

小学校の理科では、ご存じのように啓林館がすごく定評があります。私も見ていると、どうしても先入観が入ってしまうのか、すごくよく見えるんですけども、逆に代表調査員から啓林館のここがあまりよくないというのを教えてもらおうと、自分の頭の中で整理つけられるかなと思います。

(代表調査員)

啓林館にもマイナス部分があり、調査結果に示しているんですけども、観察、実験に関して結果が直後に掲載されているものがあるので、生徒にとって基本的技能を身に付けることに配慮を要すると考えております。そこぐらいがマイナスかなと思ってます。私も、小学校の校長経験があり、また、専門教科が理科なので児童に理科を教えに行ったりしたんですけども、確かに啓林館の教科書は使いやすいと思っています。

(部会長)

いかがでしょうか。では、優位性が高い発行者は、啓林館、それに続くのが東京書籍ということでしょうか。

ありがとうございました。

続きまして、音楽一般の報告お願いいたします。また、音楽器楽と1つの専門調査会で担当してもらっています。

(代表調査員)

音楽一般は2つの発行者があります。それでは、順に報告いたします。

まずは、教育出版株式会社についてです。この発行者の特に優れている観点は項目1の観点②、項目2の観点①、項目2の観点⑤といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は項目1の観点④、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目2の観点①、表現及び鑑賞の学習に関して、オペラ・歌舞伎など、幅広い音楽文化と豊かにかかわることができる教材を用いており、資質・能力を育成する点で優れていると考えております。

なお、総評以外でも項目3、観点④に特徴が見られます。楽典の資料が折り込みになっており、見づらさや破れる恐れもあり、配慮を要すると考えられます。

次に、株式会社教育芸術社についてです。この発行者の特に優れている観点は項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点①、項目2の観点⑤、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は見られませんでした。中でも、項目1の観点②に特徴が見られます。多様な音楽文化や、音楽との出会いの機会を広がるように、様々なジャンルの作品や作曲者を学習できるように配慮されている。著名人の言葉を通して、伝統を大切にする心や自尊心の向上、音楽の生まれる過程などを理解できるように、配慮されている点が優れています。

なお、総評以外でも項目3の観点⑦に特徴が見られます。教材の各所にQRコードがありウェブサイト閲覧できるが、演奏者のコラムや演奏動画は視聴できるが、練習曲に際しては音声データなどが準備されていない。生徒が家庭においても自発的に学習できるように工夫を要すると考えております。

(部会長)

ありがとうございました。音楽一般は2者ですね。総評の部分で言えば、プラス面の5つある教育芸術社の優位性が高いということでしょうか。

(代表調査員)

学校調査会結果も併せて見させていただきましたが、教育芸術社の方が圧倒的に評価が高かったように感じました。

(部会長)

その点を含めまして、何かご意見ございましたら。いかがでしょうか。

では、音楽一般につきましては、教芸のほうがより優位性が高いということで伺っておきます。

続いて、音楽器楽合奏をお願いします。

(代表調査員)

続いて、音楽器楽合奏も発行者が2つあります。それでは、順に報告いたします。

まずは、教育出版株式会社についてです。この発行者の特に優れている観点は項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は、項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、生徒の発達段階を考慮し、器楽学習がリコーダーの基本的な説明から始まっている点が優れているところに特徴が見られます。

なお、総評以外でも項目3の観点⑧にあるように、写真資料については、教科書内で取り扱っている楽器のみが掲載されている。生徒が様々な楽器について興味を持ち、今後の学習意欲を引き出すためには工夫を要する点に特徴が見られました。

次に、教育芸術社についてです。この発行者の特に優れている観点は項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点①、項目2の観点⑥といたしました。特に工夫配慮を要する観点は項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目2の観点⑥、映画音楽やテレビ番組のテーマ音楽、認知度の高いヒット曲などの多様な教材を取り入れており学習意欲が高められる。生活や社会で、音楽が果たす役割を感受できることに優れている点に特徴が見られます。

なお、総評以外でも項目3の観点⑦に特徴が見られます。教材の各所にQRコードがありウェブサイトを開覧できる。演奏者のコラムや演奏動画は視聴できるが、練習曲に関しては演奏データなどが準備されていない。生徒が家庭において自発的に学習できるように工夫を要すると考えております。以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。こちらも2者ございますね。総評の部分で言いますと、教芸のほうが優位性が高いという印象ですが、そういう理解でいいですか。

(代表調査員)

調査員と協議した結果です。

(部会長)

ご意見等ございましたら、いかがでしょうか。

(委員)

教芸のほうは、練習曲があったらもっとよかったということなんですけれども、教育出版のほうのQRコードはどのような感じですか。

(代表調査員)

QR コードでは練習曲も視聴できます。そこは優れていると思います。

(部会長)

いかがでしょうか。

では、音楽器楽合奏は、教芸の優位性が高いということで確認いたします。ありがとうございました。

続きまして、美術、お願いいたします。

(代表調査員)

美術は3つの発行者がございます。それでは、順に報告をさせていただきます。

まずは、開隆堂についてでございます。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は項目1の観点④、項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する点については項目1の観点②、項目2の観点⑤といたしました。中でも、項目2の観点①にあるように、2、3年鑑賞では、「日本らしさ」を①～⑤のテーマに分け、日本の文化を系統的に学習し、世界に与えた影響を多くの作品と共に紹介している。また、世界に広がる日本文化についても学習できるよう工夫されている点に特徴が見られます。

総評以外では、特に工夫配慮を要する点の項目2の観点②、参考作品や写真など、興味を引くものが多いが、ページによって扱う大きさや配置が単調で、余白も多く感じられる。解説、作品紹介などの説明が難しく、文字も小さく読みにくいところがあり配慮を要すると感じました。

次に、日本文教出版についてでございます。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点は、項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点①、項目2の観点⑤、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する点については、重点化された観点においては見当たりませんでした。中でも、項目1の観点②「QRコードの教材では、主体的な学びに向けて作品が360度の角度から鑑賞でき、動画で作業工程が分かりやすく、学習意欲がわくよう工夫されており、家庭学習において活用しやすい点が優れている点に特徴が見られます。

総評以外では、項目1の観点⑤、道徳の学習と関連している内容を若葉マークで示し、それぞれの題材において道徳の学習に関わることをリンクさせ、生徒に分かりやすく表記されている点に大きな特徴が見られます。

次に、光村についてでございます。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点は、項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する点については、項目2の観点⑤といたしました。中でも、項目1の観点②にあるように、QRコード教材では、多くの参考作品が掲載されている。音声ガイドを聞きながら教科書を鑑賞するなど、生徒が作品を見ながら考えることができるようにつくりになっている。また、作品の制作工程を多く取りあげており、家庭学習でも活用しやすいよう配慮されている点に特徴が見られました。

総評以外では、特に工夫配慮を要する点の項目3の観点③、A4サイズのため写真や作品の掲

載が小さく見にくい点に配慮を要すると考えました。

報告は以上でございます。よろしくお願いいたします。

(部会長)

ありがとうございました。美術は3者ございます。総評で言いますと、プラス面が多いのが日本文教出版ですが、優位性が最も高いということですか。

(代表調査員)

そうです。

(部会長)

ありがとうございます。皆さん、ご意見、ご質問がありましたら、いかがでしょう。

では、美術につきまして、日本文教出版の優位性が高いということを確認いたしました。ありがとうございました。

続きまして、保健体育、ご報告お願いいたします。

(代表調査員)

保健体育は4つの発行者があります。それでは、順に報告いたします。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点④といたします。特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点③、項目3の観点⑥といたします。中でも、項目1の観点②、Dマークコンテンツの内容が充実していて使いやすく、学習内容を深めていく工夫や、他教科とのリンクで教科を横断して効果的に指導が行える構成になっている点が特に優れている。効果的な指導が行われるようになっていくところが特に優れているところに特徴が見られます。

次に、大日本図書についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点③、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は、本地区が重視すべき5つの観点にはありませんでした。中でも、項目1の観点②、各章の最終ページに「学習のまとめ」として重要な言葉がまとめて解説されていて、各項目において生徒が分かりやすくなっており、ウェブサイトにもまとめ問題が掲載されているなど、学習しやすい形に配慮されている点が、特に優れているところです。

次に、大修館書店についてです。特に優れている観点が、項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が、項目2の観点④といたしました。中でも、項目1の観点②に特徴が見られます。「特集資料」として、【スポーツ選手の体】【運動と脳】など、運動やスポーツの効果・学び方・安全について掲載され、生徒が興味をもってスポーツを楽しみ、体力の向上ができるよう配慮されている点が特に優れているところです。

次に、学研教育みらいについてです。この発行者の特に優れている観点が、項目1の観点

②、項目1の観点④、項目2の観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点③といたしました。中でも、項目2の観点④、オリンピック・パラリンピックに関する解説や写真が豊富であり、生涯にわたって運動を親しむための意義が詳しく掲載されている点が優れていると考えました。

報告は以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。では、ご質問、ご意見を伺います。4者の中で言えば、大日本図書がすべてプラス面ということで、優位性が高いということで承っていいのでしょうか。

(代表調査員)

専門委員全員でしっかりと全部の教科書を調べたところ、強いて挙げるならば、文字の大きさ、あるいは太字の箇所がもう少し整理されたら、生徒が読みやすいものになったかなというところはあったんですけども、総合的な面で本地域としては、大日本図書が最も適切であると調査員全員の意見が一いたしたところでございます。

(委員)

学校調査会結果では、ただ単に点数だけで比べられるものではないのはもちろんなのですが、大日本よりも学研や東書のほうが評価が高かったのですが、学校調査会とはどの辺りの観点が専門調査会と違ったのか、その辺りが明確になるといいかなと思います。

(代表調査員)

経験10年未満の教員が中学生の時に、各中学校では、学研の教科書を使っていました。そして、今、現在教えているのが東書であります。やはり自分が習ったもの、あるいは今教えているものが見やすいという印象を持ちますし、学校調査会の結果に反映されたのかなと思います。ただ、大修館や大日本図書もそうなんですが、高校でよく採択されていたような教科書です。やはりしっかり教えていくとなればこれになるだろうという分析結果となりました。

(委員)

なるほど、よく分かりました。

(委員)

失礼します。東書の配慮を要するところで、項目2の観点③に、教科書の中で、合理的な解決方法を探すための発問や、問いかけが少なく、他者と話し合う場面が少なく、配慮を要するとあります。一方、大日本図書では、「話し合ってみよう」というページが、例えば57ページを開きますと、様々な資料がその下に載っていて、その資料に関連づけながら自分の考えを言い合って、協働的に話し合う。これはまさに大阪市の課題というか、全国の課題というか、学習指導要領のめざすところであるということも含めて、大日本のよさというところで優位性が高いと判断されたと解釈してよろしいでしょうか。

(代表調査員)

教科書を見ていただくと、左側に文章が載せられていて、右側に資料があり、子どもたちにとっても非常に分かりやすいというところがございます。

(部会長)

ほか、いかがでしょうか。では、本地区としましては大日本図書のほうが優勢ということで伺っておこうと思います。ありがとうございました。

では、これより休憩に入ります。

(休 憩)

(部会長)

では、再開いたします。続いて、技術、お願いします。

(代表調査員)

それでは、まず、技術分野から報告をさせていただきます。技術分野は3つの発行者があります。順に報告をさせていただきます。

まず初めは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている点は、項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点③、項目2の観点⑤、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点②、エネルギー変換の技術の分野では、新しいエネルギー変換の技術、スマートシティの実現に向けて、明るい未来を切り拓くためのイメージなどが記載されており、理解されやすいよう配慮されている点に特徴が見られます。また、項目2の観点③にありますように、QRコードが掲載されており、教科書だけで学習するのではなく、動画やシミュレーション機能がついており、理解を深めるための配慮がされているという特徴もありました。もちろん、他の発行者にもQRコードの掲載はございますが、ほかと比較しましても今言いました点が特に優れている点かと思われまます。

続きまして、教育図書についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点③、項目2の観点⑤といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点については項目1の観点④、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点②にありますように、「生物育成の技術」「材料と加工の技術」では、項目がバランスよく配列されており工夫されている点に特徴が見られます。しかし、項目1の観点④、問題を解決する工夫について、資料の提示にとどまっており、学習への深まりに向け興味づけるための工夫を要すると感じました。

また、項目3の観点⑥、各編に「振り返る」と「確認」が記載されているが、具体的で分かりやすくするなどの配慮を要すると思われまます。

続きまして、開隆堂についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点④、項目2の観点③、項目2の観点⑤、項目3の観点⑥といたしました。中でも、

項目2の観点⑤にありますように、「材料と加工の技術」「エネルギー変換の技術」において、環境問題や環境に優しいエネルギーについてふれるなど、SDGsの実現に向けた内容となっており、工夫されている点に特徴があります。

総評以外では、特に工夫配慮を要するとして、項目2の観点③、Society5.0の記載内容が乏しく、工夫が必要であると考えます。

以上をもちまして、技術分野についての報告を終わらせていただきます。

(部会長)

ありがとうございました。全部で3者ございますが、東京書籍が総評で言いますと、プラス面が5個ですね。開隆堂も総評で言うと、プラス面が5個あるという感じですけども、そうしますと、この両者で言えば、どちらの優位性が高いのでしょうか。

(代表調査員)

優位性が最も高いのは、東京書籍と考えます。

(部会長)

その点、何か理由とか、根拠があれば、簡単に伺っていいですか。

(代表調査員)

東京書籍については、色使いとか、配列、そういったものが他者と比べて非常に見やすいです。子どもたちも教科書を開けたときに非常に取っつきやすいといえますか、そのような点がございますので、東京書籍の優位性が最も高いとさせていただきます。

(部会長)

ありがとうございます。そのほか、いかがでしょうか。

ご意見がございませんので、技術分野については、東京書籍の優位性が最も高いと伺っておきます。

続いて、家庭のほうをお願いいたします。

(代表調査員)

それでは、家庭分野についてご報告をさせていただきます。家庭分野につきましても、同じく3つの発行者がございます。順に報告をさせていただきます。

まず、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点④、項目2の観点②、項目2の観点⑤、項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点②、単元冒頭に「話し合ってみよう」「考えてみよう」「やってみよう」など導入のための発問が明記されており、生徒が学習のめあてを持ち、主体的に学習に取り組めるように配慮されている点に特徴が見られます。また、項目2の観点⑤にありますように、5編では「私たちの成長と家族・地域」として3章で構成されており、実際の活動内容が写真等を効果的に使って整理して提示され、生徒がイメージしやすいよう配

慮されていると考えます。

次に、教育図書についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点⑤、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点については、項目1の観点④、項目2の観点②といたしました。中でも、項目2の観点⑤にありますように、地域や社会で活躍している方や専門学校へ進学した先輩など学習にかかわりのある人たちからのメッセージを取り上げることで、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うことができるよう配慮されている点に特徴が見られます。しかし、項目2の観点②、家族の在り方がより多様化する中、教科書の中で紹介されている家族の例はどれも両親がそろっており、配慮を要すると思いました。

続きまして、開隆堂についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目1の観点④、項目2の観点②、項目2の観点⑤といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点については項目3の観点⑥といたしました。中でも、項目1の観点④、主体的・対話的な授業から課題を解決する力を養うために、「話し合い」や「ロールプレイング」を活用する内容が取り入れられており、優れているという点に特徴が見られます。

以上です。

(部会長)

ありがとうございました。

家庭も3者ございまして、総評で言いますと、東京書籍がプラス面が5個、続きまして、開隆堂が4個と続くと思うんですけども、そういう理解でよろしいですか。

(代表調査員)

はい。

(部会長)

いかがでしょうか。

では、家庭において、優先順位が最も高いのが東京書籍、次に開隆堂ということで確認いたしました。

(部会長)

ありがとうございました。

続きまして、英語の報告をお願いします。

(代表調査員)

英語では6つの発行者があります。それでは、順に報告する前に、今回の教科書の全体的な特徴を簡単に説明させていただきます。

すべての発行者におきまして、生徒が段階的に自らの力で学んでいくための手だてが多く用意されているというふうな印象を受けております。各発行者とも帯活動、特にスピーキングに教科書を用いることができるように工夫されていました。また、生徒が自らの経験を英語で表

現するような、即興的なやり取りが多く取り上げられております。さらに、今年度から小学校で英語が教科化されたことを受けまして、1年生の前半の単元は英会話からスタートするという工夫があり、小学校での既習の単語が記載されている発行者があり、小学校での学びをスムーズに中学校英語につなげる工夫があると思います。

それでは、各発行者の優れた点、配慮を要する点についてご報告いたします。

まずは、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点の②及び④、項目2の観点④、それから、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点②とさせていただいております。

中でも、項目1の観点②にありますように、まとまった量の英文を段階的に読むことで、英語を読み取る力の向上に配慮されている。」と考えました。しかし、項目2の観点②、Stage Activityでまとまった英文を書く活動はあるが、難易度が高く、英語を苦手とする生徒には例文や手立てが少なく取り組みにくく、配慮を要すると考えております。

総評以外でも、項目3の観点②にありますように、A判でサイズが大きく、1ページあたりの内容量、情報量が多く、適切ではないと考えました。

続きまして、開隆堂についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び④、項目2の観点②、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点は項目2の観点④といたしました。中でも、項目3の観点⑥に示しましたように、各単元のScenesでその単元で学ぶ文法がまとまっており、生徒が学習の見通しを立てられるよう配慮されていると思います。

総評以外でも、項目1の観点③、巻末のアクションカードが学習したことを主体的に発信できるツールとして対話的で深い学びの実現に配慮されているので、項目1の観点②にも関連しているものと考えております。

続きまして、三省堂についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点②及び観点④、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点④としております。中でも、項目1の観点②にあるように、各単元のDrillの数が多く、パターンプラクティスを通して語彙力の向上をはかることができるよう配慮されている点に特徴があります。しかし、項目3の観点⑤、今日的な話題・題材に欠けるため生徒の学習意欲を引き出すのに工夫を要すると考えております。

続きまして、教育出版についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点④、項目3の観点⑥とさせていただきました。特に工夫配慮を要する観点は、項目1の観点④、項目2の観点②といたしました。中でも、項目1の観点②に示したように、Activity Plusに付属しているマスキングシートを用いて、語彙・文法などの自主学習を促すことができ、学力の向上に配慮されていると思っております。しかしながら、項目3の観点③にあるように、挿絵や写真の彩度に配慮を要し、また適切に配置されていないと考えております。

続きまして、光村図書についてです。この発行者につきましても、全ての観点において特に優れている観点とさせていただきました。その中でも、特筆すべき観点は項目1の観点②にありますように、四技能が各単元のパートごとにバランスよく取り入れられており、総合的な学力向上に配慮されていると考えております。また、項目3の観点⑥にありますように、各学年

の巻末にある Story Retelling では、学習の内容を振り返り、即興性の力を伸ばすことができるよう配慮されていると考えました。

総評以外におきましては、項目 3 の観点③、文字やイラストの大きさが適切で、色づかいに配慮されていると考えております。

最後に、啓林館についてです。この発行者について特に優れている観点が項目 1 の観点②と観点④、項目 2 の観点②、項目 3 の観点⑥といたしました。工夫配慮を要する観点が項目 2 の観点④といたしました。中でも、項目 1 の観点②にありますように、2、3年生の各単元にある More Information は、単元で取り上げられた題材についてより深く知ることができるよう配慮されていると考えます。総評以外では、項目 3 の観点③、身近なイラストや写真を使用することで、生徒の興味・関心を引くように配慮されていると考えます。

以上をもって、6者についての報告とさせていただきます。

(部会長)

ありがとうございました。6者ございますうち、総評部分のバランスを見ますと、最も優位性が高いのは光村図書ですね。2番目としまして、配慮されているという観点が4個ということで東京書籍、開隆堂、三省堂、啓林館が並ぶんですけれども、そのところをあえて、順番をつけてみますと、どうでしょうか。

(代表調査員)

優位性が最も高いのは、光村です。2番に関しましては、優劣つけ難いということで、開隆堂と啓林館かなと我々も結論として出しております。

(部会長)

その他ご意見なり、ご質問がございましたらお願いします。

(委員)

すみません、僕も最初に光村の Here We Go!を見たときには、すごい教科書だな、4つのバランスが取れているし、これは面白いなと思ったんですけども、一方で、東京書籍はすごくバランスが取れていて、これ教科書だけやったら、受験とか、この1冊で結構バランス取れていて対策とかいけるのかなと思いました。改めて Here We Go!を見たときに文法の学習など大丈夫かなとか、これで受験英語がこの教科書で大丈夫なのかと感じました。

確かにバランスが取れていまして、英会話はかなり力がつくし、ヒアリングも高まるかなと思うんですが、いわゆる受験の文法的な問題とか、その辺りの懸念はないのかなと感じました。学校調査会の結果は、先生方は慣れているのか、東書の NEW HORIZON と三省堂の CROWN が使われている頻度が高いので点数も高く、光村はそこまで使用頻度がないので、学校調査会と専門調査会で意見が分かれているのかなと思っています。

(代表調査員)

東書については現在使用されておりますし、三省堂につきましてもこれまでずっと使っていたということで、英語科教員にしてみれば、なじみがあって、教材研究もやりやすいということだと思います。今回の専門調査会の調査員、私以外の3名につきましては、これからの英語教育を見据え、また、小中連携に携わるものもいますので、小中の接続でありますとか、それらの観点も踏まえて各教科書をじっくり読み込んでいきました。その中で、やはりこれから求めている英語力という観点からは光村という意見がでました。光村というとやはり国語のイメージがあって、英語の教科書をあまり見たことがなかったんですが、今回この機会を与えていただいて、じっくり読み込んでいったときに、かなりいいなという意見となりました。もちろん、文法の部分につきましては、英語科の教員は、どの学校の教員も教える技術はあると思うんですけども、そういった会話などのやり取りというものを、どういうふうに日常生活の中に持っていくかという視点で選んでくれた結果なのかなと私は思います。

(委員)

そこが意見分かれるところだと思うんですけども。僕も中高一貫教育だったら、絶対 Here We Go!かなと思うんです。もう高校受験は必要ないし、ストーリーもあるし、取っつきやすいし、絵もきれいだし、これはいい教科書だなと思ったんですが、公立の高校受験を考えたときには、東書のほうがまとまっているのかなと思いました。光村の教科書で受験に通用するんだったら、僕もいいかなと思うんですけども、そこもちょっとほかの方のご意見も、聞けたらなと思います。

(委員)

受験のトレンドというか、流れはどうかと思います。今までどおりの文法英語の流れなら、少し違う何か動きが大阪でもあるのかどうかにもよるし、この受験英語が日本の英語教育を駄目にしていないかみたいな話もありますし。Story Retelling はすごく面白いと思います。

(代表調査員)

おそらくそうだと思います。今、おっしゃられたような次の英語というのを見据えての調査結果です。それが大半の、400人おります英語科の教員にどれだけアジャストできるのかというのは、1つ問題があるかもわかりませんが、追い求めていくものはこれだと、専門調査会では話に上がっております。

(委員)

今年度、ちょっとコロナの関係で中止になってしまったんですけども、大阪市でも四技能テストの実施の計画をしておりました。やはり今の流れでは四技能というところでスピーキングも含め、ライティング、それから、リスニングを大切にしているという部分で選ばれたというのは、非常によく分かるお話かなと思います。

(部会長)

ほか、いかがでしょうか。この際でしたら、もしよかったら、ご意見。

(委員)

子どもたちを見ていて、どの教科書だと、もう1回開けて勉強したいと思うかと考えて教科書を見ていました。都島区では、英語には特に力を入れたり、リモートで話をしたりいうのをしておりますが、子どもって外国人と話す「僕もちょっと話してみたいな」という気持ちがあります。光村のように、英会話に準じてやっていくという教科書はいいと思います。

(部会長)

ありがとうございました。ほか、いかがでしょうか。専門委員会のほうでは、最も優位性が高いのが光村、次が啓林館と開隆堂となっています。よろしいでしょうか。

では、最後に、道徳、お願いいたします

(代表調査員)

道徳は7つの発行者があります。それでは、順に報告させていただきます。

まず、東京書籍についてです。報告書の総評欄をご覧ください。この発行者の特に優れている観点は項目1の観点②及び観点④、項目2の観点③といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。その中でも、項目1の観点②にある「自分をみつめよう」での発問が、資料の内容で同質の場面に直面した際に乗り越える力を育むよう工夫されている点に特徴が見られます。また、項目2の観点③にあるように、「自分の学びをふりかえろう」「みんなで意見を書こう」の項目で、自分の考えをもとに討論したり書いたりするなどの言語活動を充実するよう配慮されていると考えます。また、工夫配慮を要する点につきましては、項目2の観点①にあるように、「考えよう」での発問の視点がぼくのみで、多面的・多角的に考えられるよう配慮を要すると考えています。

次に、教育出版についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②及び観点④、項目2の観点③といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。特に項目1の観点②にありますように、努力を惜しまず、何事にもくじけないそれぞれの生きてきた道を自分事として考えられるよう工夫されている点に特徴が見られます。また、項目1の観点④、巻末にある「1年間の道徳の学びを振り返ろう」のコーナーは、自分の学びを振り返ることができ、今後、論理的思考力・判断力、豊かな表現力を育成するよう工夫されていると考えます。工夫配慮を要する点につきましては、項目3の観点⑥にありますように、教材が30時間しかなく、補充教材という名称で5時間あるがその分け方など配慮を要するということをございます。

次に、光村図書出版についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④、項目2の観点①といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の観点②、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。特に項目1の観点④にあるように、「深めたいむ」のコーナーでは、資料に沿った体験的な活動を通して、資料を多面的に考えさせ議論する道徳の実践ができるよう工夫されていると考えます。また、項目2の観点①にありますように、印象的な写真を使用して国際的な内容の資料が掲載されており生徒にグローバル社会への関心が

向けられるよう工夫されている。また、生徒にとって馴染みのある作者による漫画形式の資料、挿絵が効果的に使われており、興味関心を引き出す工夫がされているというところがございます。工夫配慮を要する点につきまして、項目3の観点⑥、「学びの記録」について、生徒が自分の考えをまとめて記録するには、記入欄が小さく、教師が評価する際の見取りの資料として使うためにも工夫を要するというところがございます。

次に、日本文教出版についてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点④と致しました。また、特に工夫配慮を要する観点が、項目1の観点②、項目2の観点①及び観点③、項目3の観点⑥といたしました。特に項目1の観点④、各教材に設定されている「考えてみよう」と「自分に+1」は、論理的思考力・判断力、豊かな表現力を育成するように配慮されている。また、同様の場面に直面した際、未来を切り拓くための学力向上にも配慮されている。また道徳ノートと教科書の「考えてみよう」「自分に+1」はリンクしているので、生徒たちにとって論理的思考力・判断力、豊かな表現力を育成しやすいよう配慮されているというところがございます。また、工夫配慮を要する点について、項目3の観点⑥にありますように、「学習の進め方」や「参考資料」がランダムに挿入されているため、教材によっては、生徒たちのこれからの生き方、未来志向に結びつけることに配慮を要するというところがございます。

次に、学研教育みらいについてです。この発行者の特に優れている観点が項目1の観点②、項目2の観点③といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目1の④、項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。特に項目1の観点②、「ユニット学習」として将来の自分の生き方、社会のあり方について考える教材が取り扱われ、未来を切り拓くための学力の向上に配慮されている点に特徴があります。また、項目2の観点③にありますように、読み物資料が、学校内での出来事など生徒にとって身近な事が題材となっているので、活発に意見交換がされることで、考え議論する道徳の授業を実践するのに配慮されているというところがございます。また、工夫配慮を要する点につきましては、項目2の観点①にありますように、命の尊厳について「死」への偏りがあり、「死」と向き合う内容を扱うことも大切であるが、「生きることの意味」を深める方向性で命の尊厳を扱うよう配慮を要するところがございます。

次に、廣済堂あかつきについてです。この発行者が特に優れている観点は項目1の観点②及び観点④、項目2の観点③、項目3の観点⑥といたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が項目2の観点①といたしました。特に項目1の観点②にありますように、「考える・話し合う」の発問では、問題を乗り越えようとする登場人物に同化し、同質の場面に直面した時の対応力を育む工夫がされている点に特徴があります。また、項目1の観点④に繋がるのですが、行動の理由を考えることにより、論理的思考力・判断力、豊かな表現力等の育成するよう配慮されているところです。また、中学生の道徳ノートが、前回のものから刷新され、心のしおりも活用しやすくなり、課題について考えやすいよう配慮されているところがございます。工夫配慮を要する点につきまして、項目2の観点①にありますように、命の尊さを扱う教材では、「死」に向かう資料が多い。生きることに向き合い、生命の尊さに気づく資料を含むよう工夫を要するところがございます。

最後に、日本教科書についてです。この発行者の特に優れている観点が項目2の観点③と

いたしました。また、特に工夫配慮を要する観点が、項目1の観点②及び観点④、項目2の観点①、項目3の観点⑥といたしました。特に項目2の観点③にありますように、「書いてみよう」「話してみよう」の項目があり、自分の考えを基に討論したり書いたりするなどの言語活動を充実するよう配慮されているというところがございます。工夫配慮を要する点につきましては、項目3の観点⑥。「考え、話し合ってみよう。そして深めよう」の発問が、登場人物の心情ではなく、個人の意見を問うていて、深い学びにつながるよう工夫を要するというところがございます。

以上でございます。

(部会長)

ありがとうございました。道徳も7者ありまして、総評の部分のバランスで言いますと、プラス面の評価が高いところであかつきですか。次に、東京書籍と教育出版と思うんですけども、いかがでしょうか。

(代表調査員)

そのとおりです。

(部会長)

では、ご意見等ございましたら、お願いします。

(委員)

教員が扱いやすい教科書ではなくて、子どもたちにとって使いやすい教科書というのが第2教育ブロックで大切にしたいことだったと思うんです。教科書を見ていて、専門ではないので、中身は分からないんですが、あかつきの道徳ノートはすごくすばらしいし、これだったら、先生も教えやすいなとすごく思います。反面、もっとオリジナリティーを出して、自分で工夫したり、先生にとっては、逆にこれだけしっかりしたノートがあると、使いにくくなる。しかし、子どもたちが、こんなしっかりしたものがあるのに使わないというわけにいかない。結局、道徳ノートを使っているような形になるということを知ったことがあるんです。それで、ほんとうにこの道徳ノートで、あかつきがこれだけ優れているんだろうかということと、一番の疑問は、全部検定を通っている教科書なのに、かなり評価が厳しいというか、配慮されているという項目が1つで、あとは配慮を要するという発行者もあるので。これは外部に出る資料でしたか。これは内部資料ですか。

(事務局)

はい、公開資料です。

(委員)

余計なことかもしれないんですけども、公開になったときに、これだけ検定を通っている

教科書で配慮を要するのが4つあり、評価される部分が1つで、ほんとうにいいのかということと疑問を呈されたときに、別に僕は、日文や日科の教科書が悪いということではなくて、その辺がほんとうにこれだけ差がついて言えるのかということころは、しっかりお答えしていただけたらと思います。

(代表調査員)

日文に関しましては、私も思った以上に非常に厳しい評価だなというのは思っております。ただ、日科に関しては、やはり道徳性を高めるためには書いたりするのも大事ですけども、やはり教師との対話というのが大切です。考え、議論するというのが言われていますので、それを指導要録にもございます多面的、多角的に捉えるということの発問が、同じ教材であってももう少し工夫が必要だなと感じたところが多かったということでございます。

(部会長)

その点ですけども、学校調査会の結果を見ますと、プラス、マイナスの部分で言うと、大きくマイナスというのがたくさん挙がっていたので、少し気になりました。その点で専門調査会の結果では学校調査会の結果を踏まえながら、やはりこれだろうというご判断ということですね。

(代表調査員)

はい。道徳が特別の教科となり、教科書が採択されて2年目を迎えます。そして、しっかりその学年で教科書として活用いたしましたので、やはりあかつきの使いやすさということころ、またいろいろ考えを多面的、多角的に考えるということころが、学校調査会でも評価されたのではないかなと聞いております。

(部会長)

いかがでしょうか。逆に、専門調査会であまり評価が高くなかった部分も、学校調査会ではわりとプラスな評価もあったので、聞いていたんですけども、その点は大丈夫ですか。

(代表調査員)

はい。

(部会長)

ほか、いかがでしょうか。

(富山委員)

さきほど、部会長がおっしゃったことを私も言おうと思っていました。日文が学校調査会で、累計化した観点で45点取っておられるということころも踏まえて、先ほど大畑委員がおっしゃったように、やはりちょっと5観点のうち4観点、配慮を要するというのはいかがかなと思います。もう少し学校調査会でよかった意見として出ているものを何か1つ書くとかしては

どうかなのかなと思ったんですけども。そうしたよい意見というのは、学校調査会のほうでは、取り立ててここというのはなかったのでしょうか。

(代表調査員)

そうですね、例えば総評のところには書いています、配慮を要するというのは、1年生の発達段階ではという形で書かせていただいたんですけども、もちろん一人一人の生徒の個人差もございまして、それをあえて考えさせるというよさもあると思います。そういう意味ではほんとうにもう微妙なところなんです。参考資料のところもそうなんですけれども、焦点のブレというところに関しては、ほかのところはそうではないところもあるので、特化した形でその点をとりあげております。

(事務局)

先ほどからいただいておりますように、他教科と並べたときもありますので、先ほどからの総評のマイナス的な観点の数等も含めまして、また事務局でも検討したいと思っております。

(部会長)

その点はまた連携いただくことでいいでしょうか。どうもありがとうございました。
以上で専門調査会の報告を終わります。

全種目終わりましたが、改めて個別の部分で結構で。何かご質問等があればいかがでしょうか。

(委員)

小学校の採択に昨年携わって、今回も思ったんですけども、一番最たる例が保健体育の教科書だったかなと。学校調査会では先生方が使っていたなど、自分が学んだ教科書を選ばれるんですが、専門調査会では違う教科書を選ぶ。子どもたちにとっては、大日本がいいという結論だったと思うのです。短時間でしたので、専門調査会、学校調査会それぞれの意見というのは、やっぱり最大限尊重されるべきだと思うので、もう1回その観点が間違っていないで選ばれているかというのは、次の会議の中で整理してもらえたらなと思います。

(部会長)

あと、いかがでしょうか。次回また反映するようにしますけれども、いかがですか。

(池内委員)

質問ですが、次の選定委員会でもう決定するという事によろしいんですかね。

(事務局)

今日いただいたご意見を反映いたしまして、事務局のほうで答申案というのを作成します。今回は、その答申案についてご協議いただきまして、答申確定ということになります。

(委員)

代表調査員のご意見とかをいろいろお聞きしますと、学校現場と保護者の意見の相違も当然ながらあるだろうと。そんなことも踏まえて、しっかり考えていかなければならないかなと思います。代表的コメント一覧を読んでいたんですが、それも踏まえて、次回にその答申案を出されて、また意見を述べさせていただくということですね。

(委員)

少し遡りますが、すみません。東書の地図のところなんですけれども、事務局のほうで確認しておいていただきたいことがあります。特に工夫配慮を要する点の1番で、ICTが活用できるように白地図に限らず、写真にリンクさせるなどの工夫が必要であると、配慮を要する点で挙がっていたんですが、地図帳の見開きのページを開いたときに、インターネットにつないで見れますという趣旨の記述がありました。それなのに、なぜ、配慮を要する点で挙がっていたのか、そこだけ最終確認しておいていただければと思います。

(委員)

道徳において、多面的・多角的というのが難しいところだなと思っています。道徳の評価もひっくり返せば、長所になるということですよ。主人公の気持ちに同化しているから、よい問いだとは限らない場合があります。子どもによっては、ここを考えなさいと言ってもらったほうが考えやすい子がいるけれども、いや、僕はそこじゃなくて、こっちが気になるんだという子にとっては、縛られたら、邪魔なわけですから。縛られているという点においては、ここで配慮を要することだと言ったらそうだけれども、ひっくり返せば長所になる。これはいい点だということも、ひっくり返せば駄目な点になるということなので、どっちの立場に立って書いているかというだけの話だなと思うんです。

使いやすい教科書だということは、さっきの数学も似ていますけれども、英語もそうかもしれない。使いやすいということは、ある立場に立ってそう言っているわけですよ。だから、自分で考えたい先生にとっては、こんな本文だけでいいのと思っている先生もいるわけですよ。その点で言うと、ワークブックになっている本がいい本かどうかは、ひっくり返すと、多面的に見たら、いいと言った本が駄目かもしれないし、駄目と言っている本がいいかもしれないという観点が検討に必要だなと、道徳は特に思いました。

(部会長)

ありがとうございます。

確かに、ブロックのほうは5つの観点というのを置いています。その辺を考慮していただいて、今回調査してもらっています。

(事務局)

そんな結論からいうと、総合的にという答えにはなろうかと思いますが、この第2地区の重要とする観点の中には、子どもたちが学びやすいということを出させていただいており

ますので、今日のご議論の中でもたくさんそういった視点が出てきて、皆さんにもご意見いただいたかと思いますので、その点を重要視してまとめていきたいと思っております。もし、それで何かご意見いただければありがたいなと思います。

(委員)

子どもたちがと、一くりにできませんよねという話なんです。あの子にとってはいいけれども、この子にとってはこうということだから、今の観点も、いいところをちょっと増やしましょうとかいう話じゃなくて、1つのこれがこうでよかった、けれども、この点から言うと、よくないかもしれないみたいな書き方でバランスを取っていくということが妥当だろうという話です。子どもたちにとってというマジックワードで書いてみて分かったということです。

(事務局)

分かりました。ありがとうございます。

(部会長)

では、次回第3回で反映できるように答申資料案も作成していきたいと思っておりますので、お願いいたします。

今日の質疑を踏まえまして、次回の第3回までに事務局のほうで専門調査会報告をベースに、答申資料原案というのを作ってまいります。

今回は来週28日火曜日でございます。第3回選定委員会におきまして、答申資料案というのをお示しさせていただきまして、最終的な答申をまとめていきたいと考えてございます。その答申資料の内容から地区部会といたしまして、各種目における優位性の高い発行者につきまして協議していこうと思っておりますので、よろしく申し上げます。

(事務局)

それでは、最後に、事務連絡をさせていただきます。

まず1点目は、提出物についての連絡でございます。前回選定委員の本市職員以外の皆様には口座振替申出書、通帳の写し、マイナンバー提供用紙のご提出をお願いしておりました。この後集めに回らせていただきますので、ご提出方どうぞよろしくお願いいたします。また、事務局以外の本市職員の皆様、つまり、校長先生方も本日、口座振替申出書及び通帳の写しをご提出ください。なお、前回お配りいたしました交通費請求明細書につきましては、次回最終の選定委員会時にご提出くださいますよう、お願いいたします。いずれの書類にいたしましても、本日もしお持ちでない場合につきましては、次回最終の選定委員会にて必ずご提出いただきますよう、お願いいたします。また、本日の配付物に予備として改めて関係書類をお配りさせていただいておりますので、適宜ご活用ください。

2点目は、次回の開催日程の確認でございます。今回は来週7月28日火曜日1時から。場所は本日と同じく大阪市教育センターの第6研修室で行います。先ほども申しました提出物の中で、もし本日本提出のものございましたら、ご持参くださいますようお願い申し上げます。

最後に、本日机上に準備させていただきました資料等につきまして、お名前のシールを貼っ

てある封筒にそのままお入れおきください。次回に改めて配付させていただきます。
私からは以上でございます。

(部会長)

以上で第2回選定委員会を終わります。